

# 令和6年度 大阪府大阪市南部保健医療協議会 議事概要

日 時 : 令和7年1月31日(金) 14時から16時

開催場所 : 天王寺区民センター ホール

出席委員 : 委員総数 33 名のうち 23 名出席(定足数 17 名であるため有効に成立)

(武田委員、宮武委員、権藤委員、森委員、井藤委員、吉村委員、生駒委員、島袋委員、江上委員、原田委員、日高委員、高崎委員、宮垣委員、北原委員、美濃委員、豊田委員、越村委員、上田委員、渡邊委員、宮川委員、山川委員、樋口委員、國吉委員)

## ■議題1 令和6年度「地域医療構想」の取組と進捗状況

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明。説明後、質疑応答。

【資料 1-1】 令和6年度「地域医療構想」の進捗と医療体制の状況(大阪府・大阪市二次医療圏)  
【資料 1-2】 「医師の働き方改革に関する法令施行後の実態調査」結果概要(大阪府・大阪市二次医療圏)  
【参考資料 1】 過剰な病床の状況  
【参考資料 2】 医療法上の過剰な病床の状況  
【参考資料 3】 地域医療構想に関する各種データのHP公表について  
【参考資料 4】 病床機能再編支援事業・重点支援区域について  
【参考資料 4(別紙)】令和 6 年度病床機能再編支援事業の実施について(申請病院一覧)  
【参考資料 5】 令和 5 年度病床機能報告結果(有床診療所の報告状況)  
【参考資料 5(別紙)】令和 5 年度病床機能報告結果(大阪市二次医療圏有床診療所の報告状況)  
【参考資料 6】 感染症法に基づく医療機関との協定締結について(大阪市南部基本保健医療圏 医療機関別一覧)

### <質問・意見等>

(質問)

○地域医療構想の考え方として、回復期病床は不足しており、高度急性期・急性期は過剰であるが、急性期病床への転換は基本的には認めないということか。

(大阪市の回答)

○大阪市域では回復期の病床が不足しているため、医療機関において転換を自主的にすすめていただきたいが、過剰病床への転換についても地域の実情に応じて一定必要であれば、病院連絡会等で説明の上、協議いただきたいと思っている。

## ■議題2 令和6年度大阪市二次医療圏における各病院の今後の方向性

資料に基づき、大阪市健康局から説明。説明後、質疑応答。

【資料 2-1】 令和 6 年度病院プラン結果概要(大阪府・大阪市二次医療圏)  
【資料 2-2】 令和 6 年度病院プラン結果概要(医療機関別)(大阪市南部基本保健医療圏)  
【資料 2-3】 令和 6 年度病院プラン医療機関別一覧(大阪市南部基本保健医療圏)  
【資料 2-4】 非稼働病床の現況について(大阪市南部基本保健医療圏)  
【資料 2-5】 令和 6 年度大阪府大阪市病院連絡会結果(概要)  
【資料 2-6】 令和 6 年度大阪府大阪市医療・病床懇話会における主な意見(概要)

### <質問・意見等>

【各病院の対応方針(病院プランにおける 2025 年に検討している病床機能等)】

(1) 公立・公的病院

(住吉市民病院跡地新病院への質問)

○吹田市にある 90 床の病院が病床過剰地域である大阪市内に移転するのは、どのような経緯で認められたのか。また、認知症機能の他、小児・周産期医療も継承されるのか。

(大阪市の回答)

○住之江区の大阪市立住吉市民病院の廃止にあたっては、地元の要望に対応するため民間病院の誘致をしたが、結果として誘致に至らなかった。一方で、認知症機能を担う吹田市の大阪公立大学医学部附属病院は、建物の老朽化に伴い、建替えや廃止等の議論となっていた。このため、住之江区の病院跡地に、弘済院附属病院の機能を有する新病院を新築移転することとなった。

○病床過剰地域への病床移転については、医療法施行規則第 30 条の 32 第 2 項に基づく特例として、厚生労働省に承認されたものであり、弘済院附属病院、大阪市立総合医療センター及び大阪公立大学医学部附属病院の病床の一部を再編統合し、計 120 床の新病院となる計画である。

○なお、現在住之江診療所で担っている小児科・産婦人科の外来機能は、新病院でも行う。

## (2) 民間病院等

質問・意見は、特になし。

### 【病床機能再編支援事業申請医療機関】

質問・意見は、特になし(申請医療機関なし)。

## ■議題3 紹介受診重点医療機関の選定について

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課・大阪市健康局から説明。説明後、質疑応答の上、紹介受診重点医療機関の選定にかかる協議方針、紹介受診重点医療機関の選定について協議。

【資料 3-1】 紹介受診重点医療機関の選定について

【資料 3-2】 大阪市南部基本保健医療圏令和6年度外来機能報告 医療機関別報告状況

### <1 質問・意見等>

#### 【紹介受診重点医療機関の候補の選定にかかる協議方針】

(質問)

○紹介受診重点医療機関について、選定される医療機関数を今後増やしていきたいのか。患者に周知するために、どのような施策を考えているのか。

(大阪府の回答)

○紹介受診重点医療機関の選定は、医療機関の意向を第一に行う制度であり、基準を満たしていても意向がない医療機関に行政から選定意向の変更を促すようなことはない。但し、地域から特定の医療機関に対して、紹介受診重点医療機関になっていただきたいとの強い要望があった場合は、そうしたニーズをフィードバックさせていただく可能性はある。なお、紹介受診重点医療機関に関する府民への周知については、全国一律の取扱いとして、大阪府ホームページで当該医療機関を公表しているが、分かりやすい周知という点では、今後の課題と考えている。

#### 【紹介受診重点医療機関の候補の選定】

質問・意見は、特になし。

### <2 協議結果>

(1) 令和6年度外来機能報告結果等に基づく紹介受診重点医療機関(案)の選定

### 【協議方針】

- ・協議方針について、事務局案のとおりとすることとなった。

### 【紹介受診重点医療機関の候補の選定】

- ・地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪急性期・総合医療センター、大阪公立大学医学部附属病院、西日本旅客鉄道株式会社大阪鉄道病院、医療法人弘仁会まちだ胃腸病院、医療法人橘会東住吉森本病院、社会医療法人景岳会南大阪病院について、紹介受診重点医療機関(案)として選定することとなった。

## (2) 紹介受診重点医療機関が再編等を予定している場合の協議

### 【方針・対応】

- ・再編等を予定している場合の方針・対応について、事務局案のとおりとすることとなった。

## ■議題4 地域医療への協力に関する意向書等の提出状況

資料に基づき、大阪市健康局から説明。説明後、質疑応答。

【資料 4-1】 地域医療への協力に関する意向書提出状況(大阪市二次医療圏 診療所新規・既存開設者)

【資料 4-1】 〈医療機関別回答一覧〉地域医療への協力に関する意向書提出状況(大阪市南部基本保健医療圏 診療所新規・既存開設者)

【資料 4-2】 医療機器の共同利用に関する意向書提出状況(大阪市二次医療圏 医療機器新規購入・更新者)

【資料 4-2】 〈医療機関別回答一覧〉医療機器の共同利用に関する意向書提出状況(大阪市南部基本保健医療圏 医療機器新規購入・更新者)

### <質問・意見等>

質問・意見は、特になし。

## ■議題5 第8次大阪府医療計画における取組状況の評価について

資料に基づき、大阪市健康局から説明。説明後、質疑応答。

【資料 5-1】 第8次大阪府医療計画 PDCA 進捗管理票(大阪市二次医療圏)

【資料 5-2】 在宅医療において積極的役割を担う医療機関一覧(大阪市南部基本保健医療圏)

【資料 5-3】 令和6年度大阪府大阪市在宅医療懇話会における主な意見(概要)

### <1 質問・意見等>

#### 【医療計画】

(意見等)

- 新型コロナウイルス感染症対応の際、陰圧室が役に立ったとの話を聞いたが、今後の新興感染症時の体制整備について平時から検討していただきたい。

#### 【在宅医療】

(質問)

- 積極的医療機関が、24 時間体制でも在宅療養患者の急変に対応し、自院の患者ではない方の往診にも行くことになるが、従来の診療報酬だけでは厳しいため、何らかの財政的支援が必要である。

(大阪市の回答)

- 積極的医療機関は、大阪府医療計画に基づく取組であり、大阪府と連携しながら、必要に応じて国への要望も検討していきたい。

### <2 協議結果>

#### 【積極的医療機関】

- 「在宅医療において積極的役割を担う医療機関一覧」について、異議なしとされた。

## ■議題6 地域医療支援病院の名称承認について

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課・社会医療法人景岳会南大阪病院から説明。説明後、質疑応答。

【資料 6-1】 地域医療支援病院について

【資料 6-2】 地域医療支援病院の名称承認申請について

### <1 質問・意見等>

質問・意見は、特になし。

### <2 協議結果>

・本協議会では、社会医療法人景岳会南大阪病院が地域医療支援病院の名称承認されることについて、異議なしとされた。